

第7回狛江市基本計画策定分科会（第1分科会）会議録

- 1 日 時 令和6年10月17日（木）午後7時00分～午後8時7分
- 2 場 所 狛江市防災センター301会議室
- 3 出席者 委員長 福島 康仁 副委員長 強瀬 理一
副委員長 酒井 淳子 副委員長 五十嵐 太一
委 員 繁平 光伯 委 員 高橋 良典
委 員 片岡 晋一
事務局 杉田政策室長 中村企画調整担当主査
大久保企画調整担当主事
- 4 欠席者 委 員 大村 充男 委 員 吉野 琢也
- 5 議 題 1. 最終調整について

6 会議概要

【委員長】

議題1 最終調整について

－事務局より資料の説明－

【委員長】

まず現状と課題、施策の方向性について、事務局より前回からの修正点の説明があったため、全体を通して検討していく。

まちの姿8-③の方向性1の1行目、希望した職員が在宅勤務やテレワークの利用ができるよう、とあるが、ただテレワークを推進するのではなく、個々の事情に応じた柔軟で多様な働き方を進めるために前段と後段を入れ替えた方がよいのではないかと。

【事務局】

個々の事情に応じた柔軟で多様な働き方を推進するための手段としてテレワーク等の推進があるため、順序を入れ替えて修正する。

【委員長】

他自治体の事例だが、新規採用者でオンラインで働きたいと言ってきて管理職が頭を悩ませているという話を聞いたことがあるので、より目的が明確になるように記載した方がよいと思った。

【委員】

重点化の方向性については、各部門で設定しているのか。

【事務局】

前期基本計画の重点化している方向性をベースに、時代にそぐわないものは削除したり、推進していきたいものを追加する等、それぞれの担当課と調整したものである。

【委員】

最近の話題として、最低賃金の話や中小企業の経営が厳しいという話題がある。狛江市では毎週のようにイベントが開催されているという話も人から聞くが、運営の負担にもなっているため、それらのイベントを今後どのように進めていくかといったことを決めていく必要があると思っている。まちの姿3-③の方向性2や創業支援等について、重点化できないか。

【事務局】

現在改定内容を検討している商業振興プランとも関連する可能性があるため、そのような意見があった旨を担当課にも改めて伝え、重点化項目の調整が可能か確認する。

【委員】

パブリックコメントという用語にも脚注があった方がよいのではないかな。

【委員】

確かに20～30代くらいの世代にとっては、なじみがなく、わかりにくい用語だと思う。

【委員長】

SNSに関して、Xとブログの違いについては、私もよくわかっていない、SNS関連用語は、1つずつ解説すると項目が多くなってしまうため、XやInstagramはSNSの用語説明の中に入れてはどうか。

【委員】

ナッジという用語にも脚注があった方がよいのではないかな。

【委員】

援農ボランティアという用語にも脚注があった方がよいのではないかな。

【委員】

ハラスメントという用語にも脚注があった方がよいのではないかな。

【事務局】

御指摘いただいた用語についても、追加して修正する。

【委員長】

続いて、指標について説明をお願いします。

—事務局より資料の説明—

【委員】

まちの姿1-②の指標である「市民活動を行っている市民の割合」が9.3%というのは低いのか、高いのか。

【事務局】

こちらの設問は狛江市独自の市民アンケートとして実施しており、他市でも同様の調査をしているのか、現在資料がなく把握できていない。

【委員長】

まちの姿8-②の財政調整基金残高について、今後減少が見込まれるということで、現状

値を設定しているが、目標値が現状値よりも少ないため減らすことが目標であるかのように見えてしまう。

【事務局】

本資料の備考欄は計画上記載されないため、目標値の考え方について、計画上にも説明等を入れたいと考えている。

【委員長】

それでは、分科会最終回となるため、出席の委員より一言ずつお願いします。

－各委員より一言－

議題 6 その他

【事務局】

今回検討いただいた内容を取りまとめ、11月7日に開催される狛江市総合基本計画審議会にて第1分科会での検討結果を報告する。本日の会議録を作成後、内容の確認をお願いします。

【委員長】

その他特に意見等なければ、第7回狛江市基本計画策定分科会（第1分科会）を終了とする。